

# ハンドボール No.24

Japan  
Handball  
Association



- 社会人
- 学生
- 高専
- 高体連
- 中体連
- 小学生
- 県協会

- 全国大会
- ブロック大会
- 都道府県大会
- 地区大会

- 男子
- 女子

試合  
番号

鹿本-女34

年月日 2019年8月6日(火)  
大会名 令和元年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会

## 公式記録用紙

A 府立洛北高等学校						B 県立小林秀峰高等学校																	
熊本県		山鹿市		山鹿市鹿本体育館		山鹿市鹿本体育館		山鹿市鹿本体育館		3回戦													
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7m得点/総数											
	15	11	28	23																			
7m得点/総数	A 1/1		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B 2/4		7m得点/総数												
			1 0643	2 後半 0940	3				1 1732	2 後半 1305	3												
No.	府立洛北高等学校					G	W	2'	2'	D	DR	No.	県立小林秀峰高等学校					G	W	2'	2'	D	DR
1	黒田 凜											1 C	谷口 佳帆										
2 C	大樋 歩希					5	1					2	蔵本 愛					4					
3	金澤 菜都子					2						3	蝦名 舞子						1				
4	田中 沙弥					2						4	川嶋 由佳					8					
5	田村 佳奈					1						5	谷口 美羽					1	1				
6	能登 愛海					1	1					6	藤原 梨奈					3					
7	藤原 芽花											7	梁瀬 来夢										
8	宮田 薫乃					3		1				8	齋藤 愛希										
9	吉村 香音					1						9	三村 千愛										
10	浮田 遥					8						10	榎田 光李										
11	押谷 桃											11	松下 聖奈										
12	大平 真白											12	有尾 優歩										
13	岩崎 雅					5	1					14	山田 茉依					7					
16	岩本 夕菜											16	外種子田 瑞希										
役員A	西村 純											役員A	百田 哲郎										
役員B	伊藤 正											役員B	松下 もえ										
役員C	児嶋 恋杏											役員C	内田 琉歌										
役員D												役員D											

A	西村 純	チーム役員A署名	百田 哲郎	B
---	------	----------	-------	---

レフェリー	森山 透	安藤 太貴	森山 透	安藤 太貴
TD	長谷 隆夫	宮田 政克	長谷 隆夫	宮田 政克
MO	篠原 理		篠原 理	

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入



# ハンドボール No 26

令和元年度全国高等学校総合体育大会  
高松宮記念杯第70回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

## 戦評

開催日	2019年 8月 6日 火曜
会場	山鹿市鹿本体育館
種別	女子
回戦	3回戦

スコア	チーム名	総得点	前半	総得点	チーム名
		洛北	28	15-11	23
	第1延長		後半		
	—		13-12		
	—		第2延長		7MC
	—		—		—
	—		—		—

※第1延長・第2延長及び7MCの得点は総得点に加算してください。

戦評	前半
	<p>洛北宮田の得点で試合が動く。小林秀峰は直ぐに山田のミドルシュートで得点。ここからは、小林秀峰の流れ。川嶋のカットイン、7mT、山田の速攻からのループシュートが決まり、5-2になったところで洛北がタイムアウト。タイムアウト後は、洛北が集中したディフェンスを見せ、大樋の速攻、浮田のミドルシュートやステップシュートで13分で6-6の同点にする。お互い寄りが速いディフェンスで粘る。小林秀峰は、谷口美の速攻、藤原のポストシュート、蔵本のカットインシュートなどで加点。対して洛北は16分過ぎから猛攻。岩崎の速攻やロングシュート、浮田のミドルシュートやカットインで着実に得点し、終盤の流れを制した。15-11、洛北の4点リードで前半終了。</p>
後半	
<p>後半の出だしは、洛北能登の速攻や大樋の3得点、小林秀峰蔵本のカットインや山田の速攻3得点で互角。両チームのGKは必死のキーピングでゲームの流れを遮さない。膠着状態になり、お互いのベンチはタイムアウトを取り合い、打開策を図る。13分経過した時点で、21-15で洛北が6点リード。ゲームが動き出したのは、洛北大樋のポストシュート、金澤のサイドの連続得点。小林秀峰川嶋が得点し16-23になったところから、3-2-1の高いディフェンスに切り替えペナルティーを奪うも、洛北GK黒田がナイスセーブ。黒田はノーマークシュートを阻止する活躍。この後洛北が3連続得点し、得点差は26-16で10点となる。小林秀峰は高いディフェンスでボール回しからプレッシャーをかけ速攻で得点をうかがう。川嶋のカットインやポストシュート、山田のミドルシュートで追い上げる。洛北は、寄りの速いディフェンスを維持し、吉村、浮田らの速攻で加点し、28-23で逃げ切り勝利した。</p>	

記入者	野口 浩司
-----	-------